

## 会 議 録

### 1 会議名

令和5年度第1回新道区地域協議会

### 2 議題（公開・非公開の別）

#### (1) 協議事項（公開）

○ 地域活性化の方向性について

#### (2) 自主的審議事項（公開）

#### (3) その他

### 3 開催日時

令和5年4月25日（火）午後6時から午後7時まで

### 4 開催場所

新道地区公民館 多目的ホール

### 5 傍聴人の数

2人

### 6 非公開の理由

なし

### 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：秋山 茂、飯塚幸太郎（副会長）、井澤 愛、小玉朋子、佐藤三男、  
杉田榮作、千町健実、高野ゆかり、塚田仁子（副会長）、船崎 聡（会長）、  
三浦正郎、横山明夫（欠席2名）

・事務局：中部まちづくりセンター：小林所長、井守副所長、渡邊係長、山崎主事

### 8 発言の内容

#### 【渡邊係長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

#### 【船崎会長】

- ・会長挨拶

#### 【渡邊係長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

**【船崎会長】**

- ・会議録の確認者：秋山委員

次第2 議題「(1) 協議事項」の「地域活性化の方向性について」に入る。事務局から説明を求める。

**【渡邊係長】**

- ・地域活性化の方向性について、資料1、2により説明

**【小林所長】**

- ・補足説明

**【船崎会長】**

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

意見交換を始める。全委員から発言していただく。

**【横山委員】**

分野としては、「地域振興、にぎわい・交流」が目指す姿かと思う。そのための基盤になるものは「産業」で、働く場が大きいと思う。この地域でも張り合いを持って働くことができる。それから「子育て」や「地域振興、にぎわい・交流」とつながっていくのではないかと思う。

**【三浦委員】**

新道地区は交通の便がよく、医療機関や学校などもあり、生活するのに非常に便利である。人口減少と言われているが、新道区ではそれほど減少しておらず、むしろ少し増えていると認識している。これまでも議論してきたが、北部・中部・南部の人の交流を通じてにぎわいを作っていくことが、より重要と思っている。

もう一つは人口を増やしていくことが必要である。子育ても含め、生活のしやすさをもっと全面的に出しながら、新道区で生活したい、家庭を持ちたいと思う人を作ることに力点を置くべきと考える。

**【高野委員】**

それぞれの地域でよいところはたくさんあると思う。稲田にしても、以前よりは活気がない。昔は「おたや」があって、にぎやかだった。今はどうか。夏の花火もとてもに

ぎわいがあった。ただ、稲田以外の人が遊びに行っても、見ているだけだった。新道地区全体がまとまるのは難しいかもしれないが、何かを皆で実施してみて、昔のようなぎわいが取り戻せればよいと思う。

また、他の地域の方がこの時期になったら新道区に行きたいと思ってもらえるよう、労力はかかるが、河川敷などに花や桜がたくさん咲くようにしたい。

#### 【千町委員】

私は他県の出身だが、この地域は春夏秋冬がはっきりしている。

先日まで観桜会が行われていたが、上越市は通過点でしかないのかと毎年思っている。隣県や赤倉などの宿泊施設や温泉と比べ、観光客の落とす金額に違いがあるのではないか。

また、たくさんある空き家の活用策として、東京などの若い方から移住してもらい、その後も定着してもらえるような取組ができないかと思う。

今回の地域活性化の方向性は、新道地区だけでなく、上越市の活性化に少しでも寄与できればよいと思っている。

#### 【杉田委員】

令和5年度の「地域独自の予算」について、高田区は870万円で新道区は100万円だ。新道区からの提案がなかったのか、それとも市の予算査定で落とされたのか。今までの地域活動支援事業の1億8千万円から制度が変わったのはわかるが、高田区の提案にどの程度地域協議会が関わっているのか知りたい。

例えば、地区でごみ拾いしようじゃないかと言ってみるのもよいと思う。あれこれ言っているだけでは駄目なので、何か一つでもできることをやればよいと思う。

#### 【佐藤委員】

コロナで様々な団体の活動が制約され、じり貧状態だ。喫緊の課題だと思う。いろいろな活動、イベントを元に戻すことから始め、その後、新たな活性化について皆で話し合ってはどうか。

活性化プロジェクトチームをつくり、進めていくことが非常に大事だ。それと、活動には先立つものが必要だと思う。市から事務委託費という形で各町内会に助成されているが、小さい町内会は計算の基礎となる部分も小さく、活動するための資金が非常に少ない。広報の配布や連絡事項など、町内会の規模の大小にかかわらず同じ活動なので、考慮していただけるとありがたい。

次に、少子化は新道区に限らず全国的な課題となっている。UIターンができるような魅力ある地域づくりに取り組んで活性化に結びつけなければならない。

また、稲田小と富岡小がいずれ統合されるだろう。それに向けて、交流をもう少し活発にしてはどうかと考える。

#### 【小玉委員】

20年位前に移住してきて、富岡の子供会ぐらいしか関わってこなかった。今まで地域全体に目を向けていなかったなので、他の地域がどんな活動をしているか全然わからない。例えば、祭りを各地域で実施していると思うが、回覧板などで他の地域に知らせるのもよいと思う。そうすれば、視野も広がる。まずは、そういう小さなところから少しずつやってみてはどうかと思う。

#### 【井澤委員】

新道地区は上越市の中でも、店も小学校も病院もあり、すごく住みやすい場所だと思っている。もっと子供にやさしいイベント等があればよいと毎年思っていた。皆が集まれる施設があれば一番よいが、それは大きな課題になるので、まずはイベントなどの小さな取組から少しずつ始めていくと、大人も子どもも楽しくなるのかと思う。

#### 【秋山委員】

地域活性化の方向性について、議論の進め方についてはこれでよいと思う。

皆さんと意見が重複するが、私もこの新道区に住んで42年になる。この間、私は新道区から出たいと思ったこともない。住みやすく、本当によいところだと思っている。

ただ、私がこちらに来たときと比べる、活気がなくなってきた。特に稲田の商店街は、かつてはにぎやかだった。祭りのときは校区外の子どもたちも皆集まってきたが、何となく廃れ、活気を失っている。

地域協議会では、小中学生などこの先10年後20年後、地区はどうあるべきかといったような話や交流をしたことがない。子どもたちが成長して、進学等で一旦ここを離れたとしても、またいつかこの新道区に戻って住みたいというような地域にしていければよいと思う。

新道区は縦に長い地域であり、南北の商業施設と中部の農村地帯をうまく活用して、年間を通じて地域の連携が図られるようなイベントなどをやっていければよいと思う。

#### 【塚田副会長】

この中で私ほど長く新道区に住み、北部の激動の時代を生きてきた人はいないと思う。

嫁いできた時は周りが全部田んぼで、すぐバスが不通になったものだが、今は交通網が発達している。一番誇れるのは、大きな病院が新道区に二つあることだ。北部に限るが、高齢者の集う場所がなくなるのではないかと懸念している。

また、地域の活性化に向けては、関川を活用して人を呼ぶようなイベントを実施してはどうかと考えている。

#### 【飯塚副会長】

新道地区は公共施設が多く、大きな病院が二つ、消防署もある。また、バス路線が結構多く、高齢者もバスで出かけられる。車で10分も走れば新幹線にも佐渡汽船にも乗れ、非常に住みやすいところだ。完全に車社会となり、新道地区の南北には大きなスーパーマーケットができ、稲田商店街は廃れてしまった。それでどうするのかということだが、今、上沼道を建設している。完成すると新道区が上越地方の玄関口となるので、稲田に商業施設を誘致すれば、また人の流れが変わるのではないかと思う。

また、道幅が狭く曲がっている県道板倉直江津線も整備してもらえれば、鴨島から富岡までの流れがスムーズになり、まちも活性化するのではないかと思う。

#### 【船崎会長】

どう活性化させるかについては、資料のように地場産業を育成する、地域の交流をするということしかない。新道地区をどう作っていくのか、その方向性を見ていく必要がある。

歴史的にみると新道地区は、高田城を築く際の拠点であり、その後、高田が発展していった。そのときには、富岡に御仮屋があって、伊達政宗が資材等を運んだ。稲田から向こうの鴨島は、関川を真っすぐに改修してつくった。つまり、高田城を築くために地域全体が協力した。言い換えれば、高田が発展したのはこの新道地区があったからこそである。

今から50年位前は新道地区全体がものすごく活気があった。この地域を活性化させるためにはどうするかというのは、行政の考え方一つだと思う。我々ではなく、行政がどういうことをやればよいか、どういうことをしたいのかということだと思う。我々の提案を市が実現してくれるかといえば、決してそういうわけでもない。今までも空き家対策の議論をしてきた。それに対して、行政は特別に何かするでもなく、今までどおりという感じだった。

新道地区を活性化させるためにはどうすればよいか。もうやることは決まっている。

まずは、稲田から地域が南北に分断されているので、そこを一つにまとめるところから  
だと思ふ。

いずれにしても、市としては、資料の中からいくつか構成要素を選んでから、それを  
全体的なテーマの一つ絞ってほしいということなので、皆さんから意見をお聞きした。

#### 【小林所長】

今ほどの皆さんのご意見をしっかり受けとめた。地域活性化の方向性を考えるに当た  
って、皆さんから事前に課題等を報告していただいているので、どの分野に何件あるか  
は把握できる。

今日の皆さんの発言は、その中でも特に重要なご意見であると捉えている。

具体的には、横山委員からは産業と子育て、三浦委員からは生活利便性の高さや人口  
減少の話をいただいた。高野委員からはにぎわいと植栽、千町委員からは観光と空き家  
対策、杉田委員からは地域独自の予算についての話をいただいた。佐藤委員からはイベ  
ントとにぎわい、町内会の委託金、少子化等の話、小玉委員からは地域交流の話、井澤  
委員からは交流イベントの話、秋山委員からは地域の活力低下や連携イベントについて  
の話があった。塚田副会長からは医療の充実、高齢者交流、関川河川敷の話を、飯塚副  
会長からは公的施設、またインフラの充実を望む話を、船崎会長からは産業育成、地域  
交流、そして行政の考え方、地域分断の話などをキーワードとしていただいたと思っ  
ている。

これらのキーワードを資料の分野にあてはめてみると、意見として最も多いのが「地  
域振興、にぎわい・交流」で7件、次いで「人口減少、空き家対策、移住促進」と「環  
境、景観保全」が3件、「産業」が2件、「福祉、医療」「子育て」「インフラ、施設整備」  
が1件ずつとなっている。今後、正副会長と協議し、この中から、五つの分野で構成要  
素を絞り込み、次回皆さんにお諮りしたいと考えている。

#### 【船崎会長】

以上で次第2 議題「(1) 協議事項」の「地域活性化の方向性について」を終了する。

次に次第2 議題「(2) 自主的審議事項」に入る。最初に「新道地区活性プロジェクト  
の進捗について」、事務局から説明を求める。

#### 【小林所長】

- ・新道地区活性プロジェクトの進捗について報告説明

#### 【船崎会長】

意見のある委員は挙手の上、発言願う。

(発言なし)

以上で次第2 議題「(2) 自主的審議事項」を終了する。

次に次第2 議題「(3) その他」に入る。

本日の議題等に関して、何かあるか。

(発言なし)

以上で次第2 議題「(3) その他」を終了する。

最後に、次第3「その他」の「(1) 次回開催日の確認等」に入る。事務局より説明を求める。

#### 【渡邊係長】

- ・次回の協議会について説明

#### — 日程調整 —

- ・次回の協議会：5月23日（火）午後6時から 新道地区公民館 多目的ホール
- ・内容：協議事項 自主的審議事項

#### 【船崎会長】

最後に何かあるか。

(発言なし)

- ・会議の閉会を宣言

#### 9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

#### 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。